

報新琉球(土)日13月8年28平成

<1面>

県道規制改善求める

東村長と高江区長、県警に



【東】東村の伊集盛久村長と東村高江区の仲嶺久美子区長は12日午前、県道70号での県警による交通規制が住民に支障を来しているとして、県警に対し改善するよう東村役場で申し入れをした。伊集村長は「規制が住民の負担になっている。正常な状態に戻して安全を確保してもらいたい」と要望した。東村役場を訪れた県警本部警備一課の喜納啓信次席は「住民に迷惑を掛けないように最大限努力する」とした。今後の対応については「検討しよう」と話

した。(27面に関連)
申し入れは喜納次席と交通部の新木満管理官、仲嶺区長と伊集村長らで非公開放で行われた。
県警はへりパッド工事に反対する人たちが工事車両を止めようと、県道70号で阻止行動をしたり車をゆっ

くり走らせたりして抗議していることに対し、交通に支障を来しているとして、集落周辺や北部訓練場のメインゲート付近で道路を封鎖する交通規制を9日以降実施してきた。周辺地域に住む住民らも県道70号を通れなくなり、村や区に苦情

が上がっていた。
高江区に住む農家の70代男性は「警察も反対する人もどちらもやめてほしい。いちごっこで、朝、畑に行けず困っている。へりコプターの騒音よりこっこの方が嫌だ」と述べた。

仲嶺区長は「混乱が起きている状態なので、避けるようにしてほしい」、伊集村長は「集落の人はそのまま規制しないで通すとか、やり方はいろいろある。あまり規制をかけないようにしてもらいたい」と求めた。

平成28年8月24日(水)琉球新報

「生活懸かっている」

砂利運搬車 運転手男性

【ヘリパッド取材班】東村と国頭村に広がる米軍北部訓練場への新たなヘリコプター着陸帯(ヘリパッド)建設の工事車両の搬入を止めようと、座り込みの人たちが抗議行動をしている間、県道70号には砂利を積んだ工事車両と警察車両が約20台、ずらりと並んだ。

その中のトラック運転手の一人、大宜味村の松本源正さん(66)は「やんばるには仕事がないので、この仕事をしている。運転手をはじめ、何十人の生活が懸かっている」と窮状を訴えた。松本さんは北部訓練場に毎日トラックで砂利を運搬している。そのたびに反対

運動で車両搬入が遅れる。「意見が違うのは分かるが『反対』と言えはいいのではないか。車道に飛び出すのは危ないし、車が止まっているんなら迷惑が掛かっている。反対するなら何をしてもいいのか」といらいちを隠さない。松本さんによると、搬入

作業は午前中で終わるように指示されており、運搬が遅れても、手当は半日分しか出ないという。

「運転している時に(市民を)ひきそうになり、危ないと思う。搬入が悪いことのように毎回言われるのはつらいし、こういう危険な仕事は本当はしたくないが、生活が懸かっているのので仕事をしないと食べていけない」。松本さんは切実な表情を浮かべた。

報新琉球(火)日6月9年28平成

<28面>

攻防激化 住民に影響

学校講師、渋滞で遅刻

ヘリパッド建設

【国頭】東村と国頭村に広がる米軍北部訓練場への新たなヘリコプター着陸帯(ヘリパッド)建設を巡り、工事反対する人たちが機動隊との攻防が続く中で、地元住民の生活に支障を来している。ヘリパッド建設予定地の国頭村安波では5日、静かな集落に機動隊が徐行運転をやめるよう呼び掛ける拡声器の音が響いた。安波小学校で勤務する非常勤講師の男性は渋滞に巻き込まれ、学校側は急ぎよ時間割を要請するなど対応を迫られた。安波小学校の宮城尚志校長は「警察と反対する人両方に言いたい。一般の人を巻き込んで悪い影響を出すことはやめてほしい」と改善を求めている。

5日午前10時半すぎ、安波。機動隊車両の前にはヘリパッド建設に反対する人たちが車を徐行運転させている。機動隊車両が「一般車」として迷惑を掛けている。直ちにスピードを上げなさい」と拡声器で呼び掛け「ヘリパッド建設反対」と叫ぶ。宮城校長は「授業中にこんなごきげんな場所が響くわけですよ。子どもたちも何かなと思つてびっくりして授業が中断する。ここ

校に到着し、2校時の授業に間に合わなかった。宮城校長は「授業にも影響を及ぼすのは大変なことだ。抗行も警察も、もう少し他のやり方があるのではな

いか」と強調した。東村高江区でも、住民生活に支障を来しているとして、伊集院久村長と高江区対し改善を求めている。村と区の申し入れ後、県警は中継防衛局に対して通勤時間帯の工事車両の搬入を避けることを求め、工事車両の搬入時間は変更された。

迂回し出勤 2時間半遅刻 燃料代増

県道封鎖 生活に支障

【国頭】国頭村と兼松村に広がる米道北郡訓練場の新たなヘリコプター着陸帯(ヘリパッド)建設を巡り、県道70号の封鎖が連日続いている。地元住民らは仕事や病院に行くため、従来の生活道路が通れず負担を強いられている。

工事着陸帯

地元男性「以前に戻して」

【国頭】「なせ自分たちが我慢しないといけないのか。ヘリパッド建設予定地の国頭村安波で働く男性25は、あきれた様子で言った。名護市辺野古から毎朝県道70号を利用して職場に通っていた。ヘリパッド建設が始まった7月下旬から交通規制が始まり、西海岸に迂回して出勤している。出勤時の遅入を止めようと、工事

車30台止め抗議

高江橋に市民80人

【ヘリパッド取材班】米道北郡訓練場の新たなヘリパッド建設を巡り、工事現場に反対する市民約80人は7日午前6時すぎから兼松村の高江橋に集まり約30台の車を橋の上に止めて抗議行動を展開した。午前7時ごろ、南側から来た機動隊車両が高江橋を北上しようとする中、座り込みに参加する市民が県道をふさぎ、工事車両は通さない」と抗議した。機動隊と市民のらみ合いがそのまま約3時間続いた。午前10時半すぎ、高江橋の南側訓練場に入った。



県道70号が通れず機動隊の巡回で通れない。地元男性が抗議行動を始めた。国頭村安波。

画のみが通れる。「長い車列だからその分封鎖が解除されるまで、時間がかかるとかしてほしい。工事が始まる前の状態に戻してほ分敷して遅入するとかできないのか」(阪口彩子)

るため機動隊が動員され、県道が封鎖される状態が連日続く。安波で働く男性は7月未、県道を封鎖していた機動隊に尋ねると「いつ通れるか分からない」と返された。その場で待機したが、20、30分たつても規制は解除されなかった。40分かけて来た道を戻り、西海岸に出て国道5号を北上した。仕事場に着いたのは通常の2時間半遅れたった。

抗議行動が展開している間の県道70号は、一般車両は通れず工事車両と警察車両のみが通行している。機動隊は市民の体を押して無理やり北側に移動した。機動隊は、高江橋の北側と南側にそれぞれ40人立ち、市民が北側に移動しないようにした。機動隊が市民を高江橋から出さないようにしている間に、砂利を積んだ工事車両9台が、南側からではなく北側を通ってN1地区ゲートから北部訓練場に入った。

怒りの矛先は反対運動で何となくしてほしい。工事が始まる前の状態に戻してほ分敷して遅入するとかできないのか」(阪口彩子)

平成28年9月8日(木)沖縄タイムス

<26面>

高江の農家 抗議に苦情

県道混乱で 区、優先通行求める



通行させるよう抗議市民、警察双方に求めている。ステッカーを使った対策は5日から始まった。区は村を通じ県警に通知。市民側にも伝えているが、仲種久美子区長は「農家から効果があったとの報告はない。周知が必要」と言う。

ついでに「はわれわれの生活の破壊。もう爆発寸前だ」と憤慨する。当初の機動隊への怒りの矛先は市民側に移りつつある。

近い国頭村の安波小学校では5日、「牛歩作戦」の影で教員1人が授業に間に合わず、学校側は授業を急きよ変更した。宮城尚志校長は「反対運動を否定しないが、もっと別にやり方はないのかと思う」と首をかしげる。

高江共同売店では物品の入荷日を抗議集会のある曜日は避けるようにした。仲種区長は「区民のストレスは限界に来ている。早くヘリパッドを完成させた方がいいとの声も出ている」と打ち明ける。通勤、保育園送迎、通院などに支障が出ていると苦情は絶えない。

【東】東村高江周辺のヘリパッド建設への抗議活動で県道70号が連日混乱し、高江区を中心とする村内の農家が悲鳴を上げている。村は区の要望で農家向けに「高江生産組合」と名付けたステッカーを作製。区はステッカーのある車を優先展開。機動隊の交通規制もあつて県道は渋滞し、出荷や作付けする農家を中心に地元住民の往来に支障が出ている。



高江区の農家で製作したステッカー。農家を最優先で通行させるよう求めている

高江区の農家の男性(75)はカボチャの植え付けに向かう途中で渋滞に巻き込まれ、本来10分で到着するはずの畑に1時間以上を要した。「作付け期間は限られている。このままでは1年間の収入に響く」と嘆く。

一決してヘリパッドに賛成ではない。ただ、彼らのや

ついでに「はわれわれの生活の破壊。もう爆発寸前だ」と憤慨する。当初の機動隊への怒りの矛先は市民側に移りつつある。

高江共同売店では物品の入荷日を抗議集会のある曜日は避けるようにした。仲種区長は「区民のストレスは限界に来ている。早くヘリパッドを完成させた方がいいとの声も出ている」と打ち明ける。通勤、保育園送迎、通院などに支障が出ていると苦情は絶えない。

7日早朝、抗議活動を遠目で眺めていた与党県議は「これでは反対していた人たちまで離れていく。仕事を進めたい国の思うつぼだ」とつぶやいた。(北部報道部・城間陽介)